

関係各位

令和3年6月26日

長野県松本県ヶ丘高等学校演劇部 部長 西谷ありあ

顧問代表 日下部英司

学校長 杉村 修一

松本県ヶ丘高校演劇部の全国大会出場に関わる寄付金について（お願い）

多くの本校卒業生の皆さまが、このコロナ禍にも負けずご活躍なさっていらっしゃる様子を誇らしく思っています。

ニュースや新聞などでご存じかもしれませんが、先輩に負けず、私たち県陵演劇部も、今年の1月に行われた「第56回関東高等学校演劇研究大会ーさいたま会場」（いわゆる関東ブロック大会）に長野県代表として初参加し、わずか4名の無名校ながら、並みいる強豪常連校を斥けて最優秀賞をいただき、この度今年の夏に開催される「全国高等学校総合文化祭和歌山総文祭」の演劇部門、いわゆる高校演劇全国大会に出場させていただくことになりました。

現在の高校演劇の方式を簡単にご説明しておきますが、地区大会を経て、上位に推薦された2校程度が長野県高校演劇合同発表会（いわゆる県大会です）に参加し、県代表となった2校が上位大会であるブロック大会に参加できます。そして、そこでの最優秀賞受賞校1校だけが全国大会に出場できるという仕組みになっています。

つまり全国大会とは、全国の演劇部のある高校2,000校以上の中から、わずか12校しか出場できない大会です。倍率だけ見たら167倍であり、「宝くじ並み」という比喻がふさわしいかもしれません。自分たちでさえ信じ難い創部以来の快挙となったことを、演劇部OBにとどまらず、本校をご卒業された先輩方にお褒めいただければ、あらためて実感がわくというものです。

さて、それはそれで大変光栄なことであり、おそらくは最初で最後の機会だと思っていますが、同時に、多くの課題に直面することになりました

全国大会出場のために、新たに劇を作り直し、演技やせりふを見直すといったことだけでなく、装置の再構成や、新しいメンバーを加えた上演の機会を企画する必要があります。

その上、遠い和歌山までの交通・宿泊・輸送など、まったく経験のない作業にも取り組まなくてはなりません。こうした費用は、学校からの補助金では上限が決まっている上に、対象ではない項目も多く、演劇部の前例がないこともあって、その特殊事情が考慮されにくい場合があります。それを少ない部員数（現在やっと7名となりました）では調達が難しいことなどが、大きな課題になっています。

さらに、大会結果によっては8月後半に東京の芸術劇場での上演に推薦されますし、今

年度は県大会から参加することが認められていますが、PTAの規定では年に2回の運搬費は補助されず、どちらも自己負担を要請されることは必至です。

コロナ禍で資金集めの公演どころか毎日の部活にもまだいくつもの制約があり、決して安定した状態ではありません。この悪条件下でも、全国大会は8月1日からリハーサル、4日から6日に本番と、刻一刻と迫って参りまして、もはや先送りできません。

そこで、全国大会出場に伴う費用と、全国大会以後の今年の活動を確保する目的で、50万円を目標として各方面の皆様のご支援をいただきたく、お願いに上がった次第です。

コロナ禍にも、薄氷も踏む思いにも負けずに勝ち取った、創部以来初となる千載一遇の好機をどうかご支援くださいますよう、切にお願い申し上げます。

振込み先：八十二銀行惣社支店

店番号 422 口座番号 336881

長野県松本県ヶ丘高等学校演劇部 代表日下部英司

注1) 一口5,000円以上で、おいくらでも。

注2) 令和3年7月末を区切りとしたいと思います。

連絡先

〒390-8543 長野県松本市県2丁目1-1

長野県松本県ヶ丘高等学校内

TEL 0263-32-1142 FAX 0263-37-1074

演劇部顧問 日下部英司

(pasta1200@gmail.com)